

## 第1回 理事会

日 時：令和3年4月27日(火)14:00~17:30

場 所：Web会議

出席者：長田会長(議長)、伊藤副会長、清水副会長、  
末永常務理事、秋山、池見、稲垣、太田、大沼、  
奥村、佐々木、竹村、富岡、西山、長谷川(淳)、  
長谷川(信)、林、船山、升元、三好、和田各理事  
齋藤監事  
欠席者：大谷、小俣、北田、徳永各理事、野村監事  
(理事25名中21名出席(過半数)により理事会は成立)

陪席者：熊谷(事務局)

議事内容：

### 1. 前回議事録の確認

- ・令和3年3月31日開催の第11回理事会の議事録案について承認した。

### 2. 審議事項

#### 1) 会員状況の確認

- ・事務局から4月27日時点の会員状況について説明があり、14名の正会員、4名の学生会員の入会を承認した。
- ・正会員1,800名、学生会員35名、名誉会員57名となり、総数は1,892名であることを確認した。
- ・学会誌送達停止依頼のあった名誉会員について、退会とせず、会員として扱うこととした。
- ・今後、名誉会員をはじめとして多くの会員が退会することが懸念されるため、名誉会員・永年会員等への対応を迅速に進めることとなった。

#### 2) 委員・部会員の承認

- ・災害地質研究部会より1名、将来構想検討特別委員会より1名の計2名の新任の委員について承認した。

#### 3) 令和3年度定時社員総会資料案について

- ・常務理事より説明があった。
- ・昨年度理事会で議論した「アクションプラン2019-2020のまとめ」についても、総会資料に追記した方が良いとの意見が出された。議論の結果、第12期事業報告および監査報告の後に追記することを検討することとなった。
- ・理事各位においても、該当する箇所について修正すべき点があれば、5月7日までに常務理事に連絡することとなった。

#### 4) 2021年永年会員表彰選考結果について

- ・常務理事より説明があり、総務委員会で選考された2名を承認した。

#### 5) 第5回アース・サロンの開催と若手補助について

- ・担当理事より説明があり、懇親会を実施すること、若手への補助を行うことを承認した。
- ・会告には、懇親会を開催予定と記載するが、注記と

して、「新型コロナウイルス感染症」への対応によっては中止となる場合があることを明記すべきであることのコメントがあった。

#### 6) 令和3年度本部収支予算案について

- ・事務局長より、令和3年度本部収支予算案について説明がなされた。今後、学会全体の予算案を策定していくこととなった。

### 3. 本部からの報告事項

#### 1) 収支状況について

- ・事務局長より、令和2年度3月期の本部収支が説明された。令和2年度は黒字となる見込みであることを確認した。

#### 2) 先端技術ワークショップNo.2開催報告

- ・担当理事より、2月10日開催の先端技術ワークショップ「応用地質分野で使う、役立つ、活躍するAI」について報告があった。今年度も開催する方向で検討することとし、本ワークショップで得られたアンケート結果を参照していくこととなった。

#### 3) 「応用地質」第62巻特集号投稿申込み期間の延長について

- ・担当理事より説明があり、内容について確認した。期限延長に伴い、是非応募をお願いしたいとのことであった。

#### 4) 令和3年度シンポジウム準備状況

- ・担当理事より説明があり、シンポジウムでは令和2年7月九州豪雨災害調査団の報告書の配布・販売を行うこととし、その方法については今後協議していくこと、仮に緊急事態宣言が延長された場合には完全Web開催できるように準備していくことが確認された。

#### 5) 令和3年度研究発表会について(会告)

- ・担当理事より説明があり、5月12日が締め切りで現在申込数が例年よりも若干少ないことから、応募頂きたいとのことであった。

#### 6) ダム地質カードカレンダーの印刷時期等の変更について

- ・担当理事より説明があり、「ダムカード展」の開催時期の変更(前倒し)に伴い、カレンダーの印刷・配布時期を変更することが確認された。

#### 7) 新型コロナウイルス感染症対応について

- ・常務理事より説明があり、4月16日のまん延防止等重点措置を受けた対応が報告された。

#### 8) 令和2年度顧問会開催結果について

- ・常務理事より説明があり、会員数減少への対応や関東エリア支部代替組織の必要性、BCP(事業継続計画)、名誉会員・永年会員の会費、学会誌のデジタル化について課題が議論されていることが共有され

た。

9) 令和2年度後半執務状況について

・会長より説明があり、確認された。

10) 防災学術連携体法人設立について

・常務理事より説明があり、設立について確認された。

11) 他学協会からの依頼

・常務理事より、第12回日本学術振興会 育志賞受賞候補者の推薦について説明があり、学会推薦者を理事会および広報を通じて応募することについて確認された。

・常務理事より、第8回「震災対策技術展」大阪の後援名義使用許可について説明があり、後援名義が使用されることが確認された。

12) その他

・担当理事より、「JSRM/JSEG共催国際火山WS実行委員会2021年度第1回コアメンバー会議」について説明があった。WSは予定通り9月9～11日に実施されること、発表方式として、口頭発表はハイブリッド、ポスター発表と企業展示はZoomのブレイクアウトセッション機能を利用した遠隔での方式とすることなどが紹介された。

・稲垣理事より第2回日本応用地質学会表彰への候補者の申請について説明があった。今後総務委員会で書類審査を行い、理事会にて審議することとなった。本件については、今年度中に対応することで進めることとなった。

4. 各委員会・支部・研究部会・小委員会からの報告事項

1) 総務委員会

・常務理事より、4月21日開催の総務委員会の議事内容が報告された。現在総務委員会での審議事項として、オンラインで配布された資料の著作権に関する取扱い、代議員定数に関する定款改定、新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン改定などがあることが紹介された。

2) 事業企画委員会

・担当理事より、4月14日開催の事業企画委員会の議事内容が報告された。フォトコンテストについては、現在審査中であり、ゴールデンウィーク明けには審査を終える見通しであることが紹介された。

3) 国際委員会

・担当理事より、4月8日開催の国際委員会の議事内容が報告された。IAEGでの対応としてKSEG(韓国応用地質学会)での講演動画をIAEGに提供すること、若手技術者を対象とした海外技術関連情報・知見の発信として、シニアの経験を若手に伝える内容のイベントが検討されていることが紹介された。

4) 災害地質研究部会

・担当理事より、4月16日開催の災害地質研究部会の議事内容が報告された。今年度鹿島学術振興財団への研究助成の応募、日本応用地質学会表彰への推薦、令和2年7月九州豪雨災害調査団関連、みんなが知りたいシリーズへの執筆、令和3年応用地質実践講座「災害地質」の進捗、千木良顧問による特別講演の結果等が紹介された。

5) 将来構想検討特別委員会

・常務理事より、4月12日開催の特別委員会の議事内容が報告された。現在行われている活動方策として、大学生向けの教科書の制作、講習会の充実について、進捗内容が紹介された。

6) ダイバーシティ推進特別委員会

・担当理事より、4月5日開催の特別委員会の議事内容が報告された。6月22日に行われる予定の第1回webセミナー、ならびにweb連載企画の紹介があった。

5. その他

・名誉会員等会誌を送付しない会員には、ダム地質カードカレンダーを送付することも一案であるとのコメントが出された。